



週報

Rotary
東京本郷ロータリークラブ 

2024-2025 年度 国際ロータリーテーマ「ロータリーのマジック」

東京本郷ロータリークラブテーマ「笑顔で共に One Century Rotary Club の未来を創ろう！」

創立/平成3年3月13日(1991年)

事務局/〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-9-6-905 電話:03-3238-5350 FAX:03-3238-5352

インターネットホームページ: <http://www.t-hongo-rc.gr.jp> E-mail: office@t-hongo-rc.gr.jp

例会:毎週水曜日12時30分 例会場:ホテルメトロポリタンエドモント 電話:03-3237-1111

〒102-8130 東京都千代田区飯田橋3-10-8

会長:星野大記 副会長:小出 豊 会長エレクト:飯塚貞子 幹事:杉山和也 会報/広報・公共イメージ向上委員長:三浦謙吾

第1523回例会

2025年1月29日発行(No.1466)

本日の例会(1月29日)

オープン・ビュッフェ例会

点鐘:12:30

会場:ホテルメトロポリタンエドモント
3F「春琴」

次回の卓話(2月5日)

「マイロータリーを
使ってみよう」

雑誌委員会 委員長 服部 浩美 会員

1月22日 第1522回例会報告

第2回クラブ協議会



幹事報告

1. 本日、クラブ協議会を開催します。テーマ:今後の運営費・コスト削減等となります。
2. 来週22日の例会は「オープン・ビュッフェ例会」点鐘:12:30となります。
ゲストをお呼びになる場合は、事前にクラブ事務局までご連絡をお願いします。

出席

会員数:42名 出席数:26名 欠席数:14名

出席免除者数:2名 出席率:65.00%

1月8日修正後出席率:84.62%

クラブゲスト:あおい有紀様(小出会員ゲスト)

石川彌八郎様(ガバナー)

金子高一郎様(地区副幹事)

劉 成瑄さん(米山奨学生)

会長報告

1. 1月20日(月)三井本館へのクラブ研修では、廣瀬会員、市河会員のご尽力により、大金庫や米山梅吉氏が実際に使用していたデスクを実際に見学することができ、貴重な体験をさせていただきました。

ニコニコBOX

*石川彌八郎様(ガバナー)

いろいろと、お世話になります。

*金子高一郎様(地区副幹事)

地区大会まであと3ヶ月程度ですね。ここからガバナーが、いろいろ言い出します…一緒に頑張りましょう。あっ今日いらしてましたか!

- * 小出会員、秋本会員、本郷会員（地区大会実行委員）
石川ガバナー、あおいさん、本日はありがとうございます。
- * 頼光貴恵会員
新人歓迎会、研修会ありがとうございました。引き続き、よろしくお祈りします。
- * 市河久和会員
石川ガバナー、あおい様、金子様、ようこそ。地区大会がいよいよ近づいてきました。大成功させましょう。月曜日に三井本館の研修会にご参加の皆さん、お疲れ様でした。
- * 相本秀次郎会員
特別記念日のお祝い、ありがとうございます。

ニコニコBOX 25,000 円
累 計 732,521 円

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

【地区大会 司会 予定者】

あおい有紀 様

(旅するフリーアナウンサー・和酒コーディネーター)



航空会社勤務後、アナウンサーに転身。旅、食、酒をライフワークに、これまで全国の酒蔵 350 蔵以上足を運び取材、日本の食や和酒の魅力を積極的に発信。地域ブランディングや PR にもプロデューサーとして関わる。酒蔵ツアーや日本酒ペアリング会などの企画・主催をはじめ、全国各地での講演、セミナー講師、イベント司会多数。日本酒、梅酒のコンテスト審査員も務める。また、報道番組、スポーツ番組のキャスターや、フジテレビ「情報プレゼンター とくダネ!」で、11 年半、生 CM パーソナリティを務めるなど、25 年のアナウンサー経験を活かし「相手の記憶に残る伝え方講座」のパーソナルセッションをオンラインで開講している。

- ・国家公務員倫理審査会 委員(非常勤の特別職国家公務員)
- ・日本酒造青年協議会認定 酒サムライ叙任
- ・日本酒蔵ツーリズム推進協議会 民間委員
- ・一般社団法人梅酒研究会 理事
- ・日本ワインマラニック協会 理事

世界中で活躍する「行動人」

2025 年 1 月ロータリー Web
(<https://www.rotary.org/ja>)
「ニュース&特集記事」より抜粋

インド

8 月、豪雨によってインド北東部のトリプラ州で洪水や土砂崩れが発生した際、アガルタラ・シティ・ロータリークラブ、アガルタラ・シティ・ローターアクトクラブ、アガルタラ・セントラル・ローターアクトクラブが行動を起こしました。これらのクラブは、食料、衣類、医療、医薬品を提供する救援キャンプをアガルタラに設置し、400 人を支援しました。第 2 段階では、洪水で被害を受けた遠隔地の村の 125 家族に、クラブ会員が食料品と生理用品を配布しました。「村人たちは持ち物をすべて失い、農場や農作物が破壊されました」とアガルタラ・ロータリークラブ会員のアナンニャ・ダスさんは言います。ロータリー会員はまた、ロータリアンの小児科医、眼科専門医、皮膚科医、一般開業医に診察してもらうことができるクリニックを設置しました。

英国

6 月、トラクター、蒸気トラック、ペニー・ファージング（前輪と後輪の大きさが大きく異なる自転車）、120 台のヴィンテージ車が、レディング・マティンズ・ロータリークラブが主催する募金活動のためにモーターマー・フェアグラウンドに集まりました。「Transport Through the Ages」というこのイベントに約 4,000 人が来場し、慈善団体のために 13,000 ドル以上が集まりました。このアイデアは、エリザベス 2 世女王の在位 70 周年と国王チャールズ 3 世の戴冠式で開催された同様のショーに由来しています。クラブ会長のバレリー・ロビンソンさんはこう話します。「イベントの成功と、私たちが大切にしている慈善活動のために多くの募金が集まったことを嬉しく感じています」クラブ会員のキャリー・ワイズさんによれば、このイベントの大成功を受け、今後もこの募金活動を行っていくとのこと。

本日の例会にて、

ロータリー財団寄付 2 名 15,000 円
 米山特別寄付 4 名 30,000 円

のご寄付をいただきました。
 ありがとうございました。

研修会開催報告

クラブ研修リーダー
委員長 廣瀬英昭

1月20日（月）日本橋室町の三井本館においてクラブ研修会を実施しました。

会員15名（事務局含む）が参加、うち4名は新入会員でした。

いうまでもなく、三井信託銀行は米山梅吉が創業者、初代社長であり、創業100年を迎えました。三井本館の建物は国の重要文化財に指定されています。

14時30分過ぎ、2階セミナールームにおいて開会。星野会長挨拶の後、東京RCのウェブサイトから抜粋した資料により、東京RC発足前後の様子、関東大震災を機に始まった奉仕活動、大戦前後の苦難の時代とやむなく解散した際に米山が「奉仕の理想はあくまでも堅持したい」と語った史実、米山記念奨学基金設立の経緯などを学びました。

廣瀬委員長の挨拶を挟んで、三井信託銀行日本橋営業部（兼東京中央支店）の木村次長、続いて橋本部長（支店長）から画像を用いて種々の説明をいただきました。特に米山が信託事業にかけた熱い思いや、米山の生涯における4つの大きな事業に共通していたのは、まぎれもなく「奉仕の理想」であったと確信する、と強調されていました。ちなみに橋本部長は、東京日本橋東RC所属のロータリアンであり、この佳節に現在の職責に在ることの使命感を感じ、米山記念館の協力を得て、この見学会イベントを実施することにしたとのことでした。

説明の後、スタッフの方に館内をご案内いただきました。特に米山の執務室（現在は橋本部長の執務室）は橋本部長自身が説明して下さったほか、米山が当時使用した机や金庫には、多くの参加者が関心を示し、感銘を受けていました。更に95年前から使用されている扉部分のみで自重50トンという金庫扉などに触れながら同時に思いを馳せ、金庫前で記念撮影を行いました。

16時前に全て終了し、散会しました。

参加者からは、「ロータリーの原点に触れて新鮮だった」「貴重な体験ができ素晴らしい研修だった」等の感想が聞かれました。

（委員 市河久和 記）

